

地球温暖化防止

エコラム ECO-LUMN

Vol.102

〒地球温暖化対策室

☎295100

地球温暖化に対する世界の動き

国連の報告書（IPCC第5次評価報告書）によると、人類が何もしなければ2100年ごろの世界の気温は、2000年ごろに比べて最大で約4.8℃上昇し、海面上昇など深刻な影響が出るのが予想されています。

このような影響を緩和するためには、産業革命前の気温と比べて、気温上昇をプラス2℃未満に抑制することが国際的な目標となっています。そのためには世界全体の二酸化炭素などの温室効果ガス排出量を、2050年には2010年に比べて40～70%削減し、2100年にはゼロにする必要があります。

このようなことを実現するためには世界各国の取り組みが必要です。20



20年から世界全ての国が温室効果ガス排出削減に取り組むための枠組みについて話し合うため、12月にフランス・パリで国際会議（COP21）が開催されます。それに先立ち世界各国が自主削減目標の草案を提出することになっており、日本は2030年までに2013年に比べて26%削減する目標の草案を提出しました。この目標を達成するためには、業務オフィス部門と家庭部門においてエネルギー使用量を約4割削減する必要があります。

私たちは今まで便利な生活を追い求め、エネルギーの使い方について無頓着だったかもしれません。これからは地球市民の1人として常に意識して行動することが求められています。

ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして!

環境事業課 ☎315304

総合支所



▲食べ物を残さず食べきることも、ごみの減少につながります

10月は「循環型社会形成推進月間」です

環境への負荷の少ない循環型社会を形成するためには、3Rを推進することがとても大切です。

●3Rとは

- Reduce (リデュース) 〓物を大切に使う、ごみを減らそう
- Reuse (リユース) 〓繰り返し使おう
- Recycle (リサイクル) 〓再び資源として利用しよう

家庭でできる取り組みがあります。できることから実践してみてください。

皆さんのご協力をよろしくお願いたします。

【家庭でできる3Rの取り組み例】

- ・ 買い物ときはマイバッグを使う
- ・ 食べ物は残さずに食べきる
- ・ フリーマーケットなどを利用する
- ・ 生ごみ処理機で生ごみを処理する など

■ごみ処理家計簿

減量効果		7月分(前年同月比)
増	処理費用換算	-409万円
減	排出量 (1人1日当たり)	895g (-29g)

※処理費用は、処理に要する経費と排出量から単純に計算したもので、実際金額とは異なります。